

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

千葉県 東金市

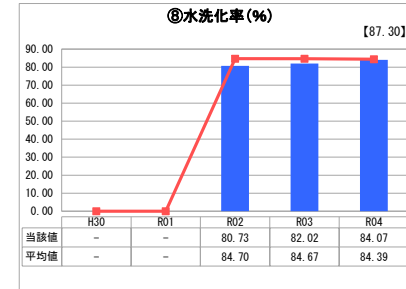
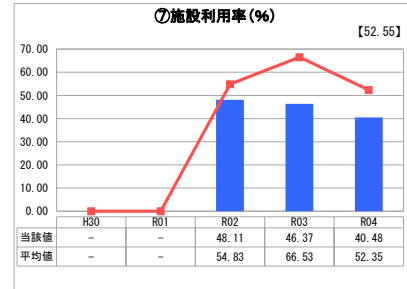
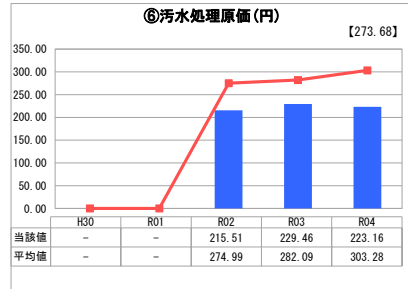
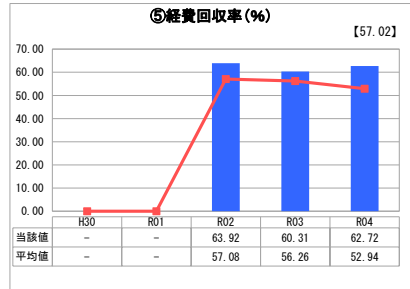
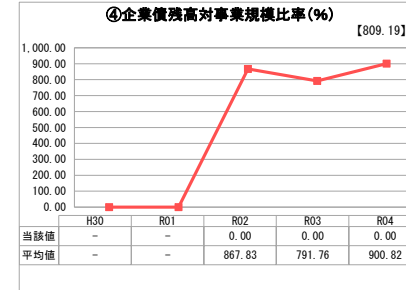
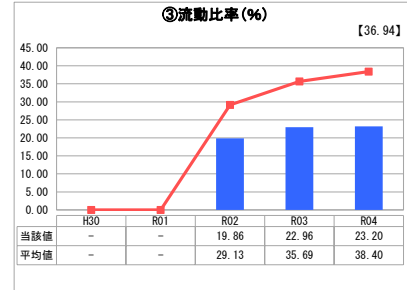
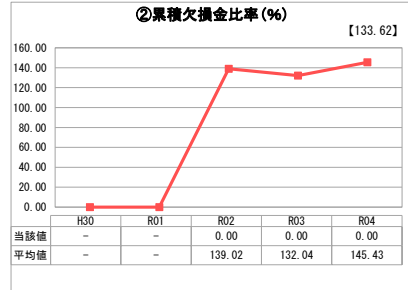
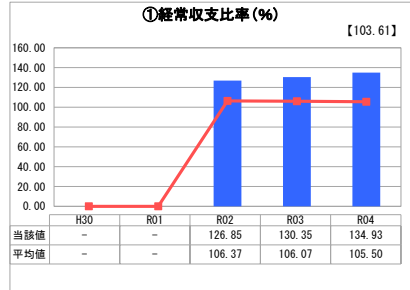
業種名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	70.24	6.98	83.19	2,714

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
57,268	89.12	642.59
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,968	2.34	1,695.73

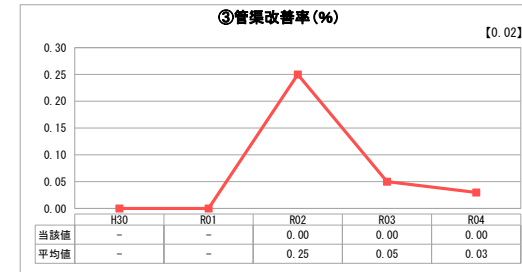
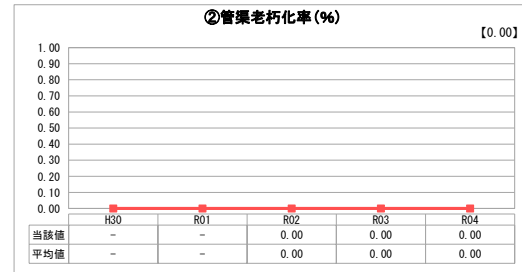
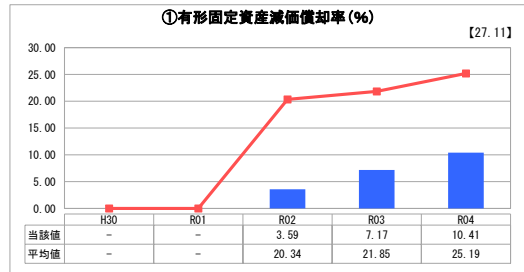
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については、全国平均及び類似団体平均を上回っている。しかし、営業収益は人口減少等により伸び悩み、収益の多くを営業外収益の一般会計補助金に依存している状況である。費用面では、営業外費用の企業債利息は減少していくものの、物価の上昇によって維持管理費用は増加していくと見込まれる。このため、使用料収入の増加を図ることが必要である。

②流動比率については、全国平均及び類似団体平均を下回っている。また、農業集落排水整備当時の企業債償還が多く、保有している現金等では負債を賅えない状況であり、一般会計補助金で対応している状態である。

③経費回収率については、全国平均及び類似団体平均を上回っているものの適正な使用料収入が確保されているとは言えない。使用料収入の増加と経費の削減が課題である。

④汚水処理原価については、全国平均及び類似団体平均を下回っている。今後も同程度の数値で推移させたい。

⑤施設利用率については、全国平均及び類似団体平均を下回っている。能力的には余裕がある。

⑥水洗化率については、全国平均及び類似団体平均を下回っている。水洗化普及を推進する。

### 2. 老朽化の状況について

処理施設の老朽化が甚だしく、修繕での対応が困難な機械類が多くなっているため、ストックマネジメントに基づき計画的な更新を行う。

また、施設の更新費用を抑制するため、処理場4ヶ所のうち、2ヶ所を公共下水道に接続し、その後、1ヶ所を接続する予定である。残る1ヶ所は老朽化状況等に応じて修繕等を実施する。

## 全体総括

当市では、維持管理費の一部を一般会計補助金により賄っており、良好な経営状態とは言いがたい。大規模な修繕が発生することに経費回収率が低下し汚水処理原価が増加するが、施設の老朽化が進み修繕工事の必要性が年々高まっていくことから、今後もそのような傾向が続くことが想定される。

対策としては、公共下水道施設との接続・統合を計画的に実施し、経過年数・規模・接続時期などを踏まえた効率的な実施による維持管理費のコスト削減に務める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。